

花の美術館だより

FLORAL MUSEUM NEWS



特集 花のある暮らし

**真冬でも
南の香り……
大温室を歩く**

WINTER
Vol.

6

ダイナミックに流れ落ちる滝、太陽の光がキラキラと降り注ぎ、
熱帯・亜熱帯植物が茂る、総ガラス張りの大温室。
季節を問わず南国ムードがたっぷりの異空間で、
草花、木々に親しむ……
温かな風に誘われて、
ゆっくりとトロピカルガーデンを歩いてみませんか？

真冬でも南の香り…… 大温室を歩く

トロピカルムード溢れる空間へ

大温室「トロピカルガーデン」は「アトリウムフラワーガーデン」に並ぶ花の美術館のメイン施設です。高さ23m、直径33mの総ガラス張り、外観も印象的なこの温室は48角形をしています。ガラス屋根の梁を細くすることで、太陽の光を存分に取り入れられるようなデザインとなっています。

1階の入り口は、少し薄暗い洞窟。熱帯魚の水槽もあり、温かい空気が包み込みます。その洞窟を抜けると眩しいほどの日差しの中、美しい緑が生い茂る中央部です。注目したいのは大温室のシンボリック存在ともいえるガジュマルの木。たくさんの気根（空気に出す

根）が絡み合って形成される奇妙な太い幹は、とても個性的です。また、豪快に流れ落ちる滝と池のまわりには、ヤシが生い茂りハイビスカスの色鮮やかな花が目を引きまします。階段脇の熱帯果樹コーナーではパイナップルやバナナ、グアバなどが、甘い香りをふりまき、思わず深呼吸したくなるほどです。

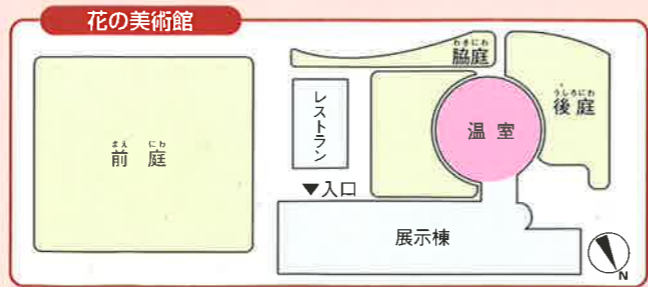
階段を上ると、2階は洋ランコーナー。艶やか

な花々が出迎えてくれます。“花の王者”とも言われる洋ランは、多様な形や色彩、そして香りで見ると魅了してやみません。その華やかな花姿から“洋ランの女王”といわれるカトレアや、チョウが舞うようなその形からコチョウランの名で親しまれているファレノプシスは、溜め息がでるほどの美しさ。他にもパンダ、オンシジウムなどが色とりどりに咲き誇り、見る人の気持ちを華やかに引き立てます。また、ヘゴに着生した、原種のランも一見の価値があります。冬は屋外では花の彩りも寂しくなりますが、洋ランコーナーでは鉢の数も増やし、一層豪華な雰囲気になります。

また、つり橋状となった2階の園路からは、下の池を見下ろすことができ、立体的に楽しむこともできるのも、この大温室の魅力の1つ。時には寒さを忘れて、温かなこの大温室で南の空気を感じてみませんか？



艶やかな洋ランコーナー



熱帯・亜熱帯植物は500種4000株にも及ぶ



FROM FLOWER COLLEGE

フラワーカレッジから

～押し花でオリジナル作品を～

1 花は開花したてのものを選び、なるべく水分の少ない状態で採取します。晴天の続く合間や、鉢物なら前日から水を控えましょう。紅葉した葉なども素敵ですし、同じ植物でも花びらのみ、茎ごと、茎のみ、根もつけて、など工夫して楽しみましょう。



2 電話帳を用意し、植物をはさみページにティッシュペーパーを敷き、厚みの同じ植物を並べ、さらにティッシュペーパーを重ねて閉じます。はさみ間隔は100ページ以上開けましょう。

3 はさみ終了したら電話帳の上に板を置き、10kg以上の重石をします。湿気の少ない風通しのよいところに3～4週間置き、ピンセットでつまんでピンとしていけば出来上がり。しなりとたれるようなら、押しなおします。



4 材料が揃ったら、台紙にレイアウトをしてバランスを見ます。位置を決めたら、押し花の裏にピンセットとつまようじでボンドをつけて固定。



※赤丸の位置にボンドを少量つけて固定しましょう。



5 ハガキなどの場合は、透明の粘着シートでカバー。額絵にする場合は防虫シートや乾燥シートを入れて密封すればでき上がりです。飾るときは直射日光のあたらないところに。自分だけのオリジナル作品の完成です。

参考図書：「押し花12か月」山岸英子著、文化出版局刊

みどりの豆知識

洋ランの栽培

ギフトなどでいただく機会も多く、またその優美な姿に人気の集まる洋ラン。今回は目にする事の多いシンビジウム、デンドロビウム、カトレア、コチョウランを中心に、栽培のポイントをご紹介します。

そもそも洋ランは、ランの中でも熱帯・亜熱帯地方を原産とし、標高1000～2000mの山地に自生、多くは雲霧による水分やモンスーンの雨季の雨水で生育しています。また、根の生育状態によって、地生ランと着生ランにわけられます。

栽培の条件としては、冬の最低温度が5～10℃であれば、低温性のシンビジウム、デンドロビウムなどが可能。カトレアは10～15℃、コチョウランは15～20℃は必要です。昼夜の温度差は10～15℃に。また、冬の室内では充分日光の入る場所を選びます。



ただし、コチョウランはカーテン越しの光にしましょう

春から秋は霜の心配がなければ、屋外の風通しがよく、雨水の跳ね返りなどが無い場所に置きます。室内から出すときは急に強い日光に当てず、1週間くらいかけて徐々に日光に慣らします。日当たりを好むデンドロビウムは直射日光で、シンビジウムなどは夏場は30%程度の遮光が必要。どのランにも春から秋までは水と肥料をたっぷり与え、秋からは肥料はやめて、水も徐々に少なくします。冬場は1週間に1回で充分でしょう。

長期間花の咲くシンビジウムやコチョウランは、株を弱らせないよう、すべての花が開ききったら切り花にするのもひとつの方法です。ポイントを押さえれば、それほど難しくありません。来年もぜひ素敵な花を咲かせましょう。

みどりの相談受付中

線についての相談は『みどりの相談員』がお答えいたします。相談は電話でもお受けいたします。

都市緑化植物園 ☎043-264-9559
花の美術館 ☎043-277-8776



はなちゃん

花の美術館フローラルクリスマス

花の美術館のクリスマスは、予約のいらない手づくり講座がいっぱい。見る楽しさと作る楽しさの両方を体験してみませんか。

11/7~12/25

アトリウムフラワーガーデン「クリスマスファンタジー」

四季の花々がいっぱいのアトリウムも、この期間はクリスマス色です。ポインセチアやクリスマスツリーなど、お楽しみください。

12/13・12/20

松ぼっくりでクリスマスツリーを作ろう

先着各100名。受付時間は両日も午前10時から11時半、午後1時半から3時半まで。材料費100円。花の美術館内花工房で。松ぼっくりをモミの木に見立てて、ツリーを作ります。可愛い自分だけのツリーを作ってみましょう。

12/15~12/25

みんなで作るクリスマスツリー

花の美術館アトリウム入り口にツリーが登場。松ぼっくりの飾り付けができます。

12/19・20・26・27

ガラスを彫る体験講座

全日午前10時、11時、午後1時、2時から各回先着5名ずつ。材料費2000円。花の美術館内多目的室で。

19、20日はクリスマスプレートを、26、27日はイヤープレートを彫ります。12月15日から27日までは同じく多目的室で、企画展示「ガラスの彫刻“ガラスと花の出会い”」も開催中。作品を鑑賞しながら体験ができます。

アトリウムフラワーガーデン予定

花の美術館アトリウムでは、季節の花々による室内花壇をご覧いただけます。

ニューイヤーカーガーデン

1月5日~1月末まで

シンビジウムやデンドロビウムなどの洋ランと、プリムラなどの春の花々が新春を飾ります。

森の春

2月1日~2月末まで

クロッカスやムスカリなど早春の花々をご覧ください。

企画展示予定(多目的室)

1/5~1/10	盆栽同好会習作展
1/12~1/31	植物種子写真展
2/2~2/7	洋ラン展
2/9~2/14	マンハッタンの聖バレンタイン
2/16~2/28	四季の花“手まりと手まり糺”
3/2~3/14	フラワーデザイン展(アートフラワーと生花)
3/16~3/22	ドライフラワー展“時を奏でる花”
3/24~3/28	フラワーアレンジメント展 “テーブルをフラワーデザインで!”
3/30~4/11	ステンドグラス展

フラワーカレッジ予定表

日程	講座名	講師名	材料費	申込受付期間
1月 9日(土)	盆栽の楽しみ方	岩瀬 輝彦	無料	H10年12月15日~25日
1月16日(土)	春色のバスケットアレンジメント	大槻 順子	2,000円	//
1月23日(土)	トールペイント(ガーデンスティック)	古館由紀子	2,000円	//
1月30日(土)	ウェディングブーケ	星野 里子	2,500円	//
2月 6日(土)	ドライフラワーのコサージュ	宮崎久美子	2,000円	//
2月13日(土)	バレンタインデーのリース	小滝 洋子	2,000円	//
2月20日(土)	手ひねりでミニ花器を作る(陶芸)	山下 一步	2,000円	H11年1月15日~25日
2月27日(土)	てまり(菊がかり)	富田 達	1,500円	//
3月 6日(土)	白い額に押し花絵	大里 和子	2,000円	//
3月13日(土)	春色のドライフラワーの壁掛け	西内 順子	2,000円	//
3月20日(土)	サギ草を球根から育てる	福田 洋	2,000円	H11年2月15日~25日
3月27日(土)	ドライフラワーをミニグラスにアレンジ密封	伊坂八千代	2,000円	//
4月 3日(土)	親子でつくるフラワーアレンジメント(ブードル)	畠山 澄子	2,000円	//
4月10日(土)	ドライフラワーの手作りリース	渡辺 基江	2,000円	//

- 募集人員/各20名 ●場所/花の美術館1F「花工房」 ●時間/13:00~15:00
- 応募方法/往復ハガキに希望講座名(1通につき1人1講座)、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢、返信の宛先を明記し下記宛先へ。(応募者多数の場合抽選)
- 宛先/〒261-0003 千葉県美浜区高浜7-2-4 花の美術館フラワーカレッジ係
※募集案内は「ちば市政だより15日号」に毎月掲載しています。予定は予告なく変更することがあります。必ず「市政だより」で確認してから応募してください。

表紙作品「ネイチャーグラデーション」

—花の美術館常設展示—
材料/ベイルーフ、シナモン、スターアニス、トウガラシ、グリーン・ブラック・ピンクベーパー、ほか
制作/ミアアートメディア

【お知らせ】花の美術館は、年末は12月27日まで、年始は1月5日より開館いたします。



千葉市 花の美術館
FLORAL MUSEUM

開館時間◎9:30~16:30

休館日◎毎週月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)

および12月29日~1月3日

入館料◎大人200円、小・中学生100円

団体割引(30名以上)大人160円、小・中学生80円

年間パスポート 大人1000円、小・中学生500円

(1年間本人に限り何回でも入館できます)

交 通◎JR総武線「稲毛駅」よりバス利用◎番「高浜車庫」または

「花の美術館前」下車、JR京葉線「稲毛海岸駅」より

バス利用◎番「海浜プール入り口」下車

東関東自動車道「湾岸習志野インター」(東京方面)、「湾岸

千葉インター」(成田・木更津方面)から国道357号線経由

お問い合わせ◎千葉県美浜区高浜7-2-4(稲毛海浜公園内)

TEL 043-277-8776 FAX 043-277-8674